

第 8 回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録

◎開会

○事務局 定刻となりましたので始めたいと思います。

皆さんこんばんは。

昼間お疲れのところ、第 8 回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本日が最終の検討委員会となります。

始めに、教育委員会の附属機関の組織及び運営に関する基準を定める規則第 4 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、この会が成立していることをご報告いたします。

それでは、第 8 回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を開催いたします。

まず、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

本日使用いたしますのは、資料 1 枚ものの検討委員会次第、次に第 7 回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録、次に、答申書の内容についてということとなります。

皆さま資料の不足等はございませんか。

(発言するものなし)

○事務局 それでは、次第に沿って進めてまいります。

◎会長あいさつ

○事務局 始めに、会長からご挨拶を申し上げます。

○会長 こんばんは。

年度末ご多用の折ご参集くださいますして改めて感謝申し上げます。

いつもこんな話しかしませんけれども、約 3 週間ほど前だったんですけども、私車で通勤しております、朝 8 時の NHK ニュースで全国的にこのような適正規模適正配置あるいは小中学校の統廃合ということのニュースがございました。やっぱりびっくりするほどたくさん学校が減ってまして、こんなもんかと思って改めてびっくりしたわけです。

私どもこうやって皆さま方にご協力いただきまして、全国的な動向ではありますけれども決して遅れがないように紀の川市の教育を皆さまにお考えいただいたということに関しまして大変感謝しております。今日に至るまで 8 回大変お世話になりましたけれど

も、改めて感謝申し上げて挨拶とさせていただきます。今晚もよろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

ここからは会長により進行をお願いいたします。

◎第7回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録について

○会長 ありがとうございます。

では、議事に沿いまして進めさせていただきます。

まず、議題の(1)第7回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会の会議録についてです。

事務局から説明していただきます。お願いします。

○事務局 どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、座って説明させていただきます。

前回の会議について簡単に振り返りのほうをさせていただきます。

まず、事務局から答申(案)の中で特に委員の皆さまにご検討いただきたい主だった箇所を読み上げ、内容の確認をしていただきました。

そこで、字句の修正や11ページの①通学区域の変更の中の文章表現が分かりにくい箇所があるということでご指摘をいただいた他、12ページの今後の適正化を進める上での留意点の中に、仮に廃校となる学校については地域の文化が薄れたり、地域住民のコミュニケーションが不足しないように、改めて学校が持つ社会的な役割についても記載してほしいというご意見をいただきました。

これに対しまして、会長と相談のうえ、修正を行ったものを皆さま方にお送りさせていただいております。

簡単ですが前回の内容は以上となります。

なお、本日までに委員の皆さまからご意見やご連絡はいただいておりますが、もし何かございましたら今発言のほうをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

特にございませんか。

(発言するものなし)

○事務局 無いようですので、事務局からは以上です。

○会長 ありがとうございます。

ただ今事務局から前回の会議録について説明がありましたけれども、事前にご覧になっていたかと思っておりますけれども、このままお認めいただいてもよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○会長 ありがとうございます。

◎答申書の内容について

○会長 では、次の議題（２）に進まさせていただきます。

議題（２）は、答申（案）の内容についてです。

前回の検討委員会として委員の皆さま方に答申（案）についてご意見をいただき、事務局及び副会長と私とで整理し編集を行った答申書の内容をご確認いただくため、事前に委員の皆さま方にはお送りしております。

ご覧になっていただきまして、ご意見等ございますでしょうか。前回の会議でもってご審議いただいた内容につきましては反映させていただいております。

よろしいでしょうか。

ひと通りご覧になっていただいていると思いますが、ちょっと時間をおきましょうか。前回は事務局からかなり長時間説明いただいたのですが、よろしいでしょうかね。

（発言するものなし）

○会長 そうでしたら、ご意見が無いようですので、この案をご承認いただいたということでもよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

○会長 ありがとうございます。

それでは、この案を使いまして後程教育長に答申書をお渡ししたいと思います。ご了承いただきたく思います。ありがとうございます。

◎その他について

○会長 では、議題、その他について、皆さんからこの８回の会議を通しまして、何かご意見あるいはこういう具合にしたらいんだというようなご意見等ございましたら、ご発言いただきたいと。これが最後の会議になりますので、後になって、しまった、言い残したということが無いように仰っていただけたら事務局としても有り難いと思。います。

よろしいでしょうか。

（発言するものなし）

○会長 また、何かお気づきの点がありまして、今後の方針についてご意見ありましたら

事務局のほうにお寄せいただければ対応するような体制になっておりますので、よろしいでしょうか。

(発言するものなし)

○会長 そうしましたら、一応その他まで今日の議題が終わりましたので、次の進行は事務局に進めていただきます。

お願いします。

◎答申について

○事務局 会長議事進行ありがとうございました。

それでは、ただ今ご承認をいただきました答申書を本検討委員会の会長より教育長にお渡ししていただきます。

○会長 この答申をお渡しする前に、答申に至った経緯を説明申し上げます。

私ども紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会は令和2年10月13日に、紀の川市教育委員会教育長、貴志康弘氏からこれからの紀の川市の小中学校のあり方、次代を担う子供たちのより良い教育環境の確保及びその向上を図るための諮問を受け、本日まで8回に渡り鋭意議論を重ねてまいりました。

委員の皆さま方には、紀の川市の宝である子供たちに良好な学習環境を提供するよう強い思いで熱心にご議論いただき、結果としてここに答申書を完成するに至りました。委員の皆さま方のご尽力とご協力に改めて感謝申し上げます。

本来であれば答申を読み上げてお渡しするのが筋ではありますが、構成を申し上げることにより概要を述べたこととさせていただきます。

1 紀の川市立小中学校の現状。

2 学校規模に関する保護者及び市民のアンケート調査。

3 学校のあり方についての基本的な考え方。

4 適正化を進める上での留意点です。

また、資料編として本委員会に関する資料を付けております。

紀の川市教育委員会におかれましては、この答申に基づき学校関係者や地域住民の十分な理解と協力をいただき、小中学校の適正規模適正配置を推進していただくようお願い申し上げます。

委員一同、紀の川市のより良い教育環境の整備を期待しております。

では、答申をお渡しすることにいたします。

令和4年3月22日、紀の川市教育委員会教育長、貴志康弘様。紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会長、仁藤伸昌。

紀の川市立学校適正規模適正配置について答申。

表記の件について、令和2年10月13日付けの紀の川市立学校の適正規模適正配置について（諮問）で、諮問を受けた下記の事項についてここに答申をいたします。

記、紀の川市立学校適正規模適正配置について。これからの紀の川市の小中学校のあり方についてです。

よろしく願いいたします。

○教育長 ありがとうございます。

（会長より教育長へ答申書を渡す）

○事務局 会長ありがとうございました。

ご自席へお戻りください。

それでは、教育長より委員の皆さま方にお礼のご挨拶を申し上げます。

○教育長 改めまして皆さんこんばんは。教育長の貴志でございます。

ただ今、紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会仁藤会長様から答申書をいただきました。令和2年10月13日に諮問をさせていただいてから、2年に渡り熱心に話し合いを続けていただきました仁藤会長様始め委員の皆さま方にお礼を申し上げますとともに敬意を表します。

全国的ではありますが少子高齢化が進み、紀の川市は全国平均よりも早く進んでおります。このようななか市全体で教育的な視点を持ち、義務教育の機会均等や水準の維持・向上の観点から、子供たちに望ましい教育環境の整備を検討することが急務となったことから諮問をさせていただきました。

保護者・市民アンケート結果からも学校配置については現状のままがよい、見直すべきとの回答が拮抗しており、デリケートな問題ではありますが、ただ今答申をいただきましてその答申を真摯に受け止め、紀の川市の教育を預かるものとして、次代を担う子供たちにより良い学習環境の確保及びその向上を図るために改めて肝に銘じ、市民の皆さんにご理解とご協力をいただきながら、市内の小中学校の適正規模適正配置を進めてまいりたいと思っております。

重ね重ねではありますが本当にありがとうございました。

◎閉会

○事務局 続きまして、閉会にあたり副会長からご挨拶申し上げます。

○副会長 皆さま、私たちここにこうして顔をあわすのも最後になると思うんですけれ

ども、一緒に今後の紀の川市の児童生徒の姿っていうのを想像できるようになりました。

実際問題、こういう場に出ないとこの先どうなっていくのかっていうのは本当に分かってなかったなと自分では思います。そんななかでこういう会議に参加させていただいて、先の状況が見えたなかで色々議論できたことはすごく有意義だったなと思っております。

皆さんにおかれましても色々な立場で意見を出していただいて、そしてこの答申ができたと思います。今後これを具体化していくにはまだまだ取り組んでいかなければならないステップがあるんですけども、その間にも自分たちは幾ばくかは他の方々よりもよく知っているの、今後も自分たちそれぞれの立場で皆さんの議論の中での一助になれるように協力できていたらなと思っております。

今回これで私たちの役目は終わりますけれども、今後もまだまだこの適正化、実際の適正化に向けて具体策が進んでいくと思えますが、その場その場で自分たちがまたこういうことだよっていうのを助言できる立場でもあると思うんです。その点においてもこれが終わった後も協力できたらなと思っておりますので、皆さんご協力よろしくお願いいたします。

それから、事務局の皆さん方、私たちの議論の素材となるアンケートとかあるいは学校での状況とかっていうのを色々具体的に示していただいて、本当に私たちも議論の進める一助に本当になっておりました。どうもありがとうございます。

今後とも私たちも協力していきますが、また色々な意見をもとにしてより良い子供たちの環境を整えていただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

○事務局　ありがとうございました。

委員の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の大変ななか、約1年半の間夜の会議ということもあり、昼間お疲れのところ今回を含め8回の本委員会にご出席いただき本当にありがとうございました。

ここで答申をいただいたことをもとに基本計画のほうを作成していきたいと考えております。

これをもちまして、第8回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会　19時30分